



# 年次総会

会員数 46名、出席者 23名

会員数の3分の1をもって、本クラブの年次総会の定足数とする

## ◆ 2018-19年度 会長エレクト、幹事エレクトの承認◆(敬称略)

2018-19年度 会長エレクト 許斐義彦 幹事エレクト 山口健太郎

## ◆ 2018-19年度 理事役員の発表並びにご挨拶◆(敬称略)

会長	川瀬隆史	会長エレクト	許斐義彦	直前会長	水本由幸	副会長	平山寿則
幹事	山田吉盛	幹事エレクト	山口健太郎	SAA	川口輝彦	会計	宮脇雅俊
クラブ管理運営プロジェクト委員会担当	許斐義彦			(出席、プログラム、親睦活動)			
会員増強プロジェクト委員会担当理事	高木宏隆			(会員増強、会員選考・職業分類)			
公共イメージプロジェクト委員会担当理事	下田隆雅			(R情報・広報、クラブ会報・記録保存)			
奉仕プロジェクト委員会担当理事	北口功幸			(社会奉仕、職業奉仕)			
国際奉仕プロジェクト委員会担当理事	江上徹也			(ロータリー財団、米山記念奨学)			
青少年奉仕プロジェクト委員会担当理事	嶽本幸次			(青少年、インターアクト)			



## 2017-18年度半期報告 会長 水本由幸

7月に今期が始まり、どうにか12月を迎えることができました。この半期の報告をいたします。先ず懸案の会員増強の件ですが、今期の会員数は48名でスタートしました。会員数の純増目標を2名としましたが、チャーターメンバーの退会が続いていて現在の会員数は46名です。会員増強委員会では9月19日「会員増強クラブフォーラム」を川瀬会長エレクト、吉田委員長により実施し、吉田委員長が作成した「新会員情報提供書」、「入会勧誘のためのパンフレット」が紹介されました。これにより、現在まで数件の情報提供がありました。是非皆様懇意の入会の可能性がある方の情報をお寄せいただきたいと思います。以前もお話したことですが、「現在は入会は無理だが、将来的には入会するかもしれない」と云った情報でも結構です。又、同時に女性会員を入会させる件も、会員全員の総意をもって確認していただきました。幸い、女性会員の情報も寄せられています。喜ばしいのは来年1月の新年例会に、1名の入会者を紹介することになっています。是非今後の会員の協力をお願いいたします。SAA委員会は、日高理事の下、経験豊富な委員の司会により毎回の例会を盛り上げていただいています。11月7日には、長崎みなとクラブとの6回目の合同例会を実施しました。今回は、両クラブが世話している米山奨学生も参加し、和気あいあいとした雰囲気です。みなとクラブとの友好を大いに深めたところでは、みなとクラブは来年2月開催のIMのホストクラブです。西クラブとしてもできうるだけの参加者で、成功を援助したいと思います。クラブ奉仕委員会は、寺坂理事の下、親睦活動委員会が西会を2回開催しました。その際のロータリー情報は、それぞれ下田さん、北口さんに担当していただきました。後、2回予定されていますので、講師を依頼された方はよろしく願います。10月4日の観月例会は、くんちの「庭見せ」の日に当たり、旧暦15日の月が輝いていました。劉さんのいつもながらの会場の演出に、感謝いたします。

プログラム委員長の豊福さんには例会時の卓話の講師をお世話していただいています。活水大学の藤重先生、長崎市長、又井上病院の吉嶺先生の「睡眠時無呼吸症候群について」など多彩な講師陣です。特にその中でも印象に残っているのは、海星高校の濱崎先生の卓話です。インターアクト



クラブに所属していた卒業生が、「クラブで活動したことを誇りに思っている」という内容を話されたことでした。出席委員会は、11月14日全員出席例会を実施しました。川口委員長は個別に連絡し、出席を促がされていました。例会の出席率は、半期の平均で82%ですが、これは修正出席率です。今後のご協力をお願いいたします。社会奉仕委員会は中村理事の下、マリア園児童の毛布のクリーニングを実施しました。毎年パールドライ工場の本来の作業に支障がないのだろうかと気がかかりますが、どうでしょうか。三宅会員の好意に感謝いたします。搬入、搬出に延15人の会員に協力していただいています。インターアクトクラブからも2名の参加がありました。この模様は後日、西さんの紹介でテレビ放映され、私もクラブ外の数人の方から写とたばいと云われました。地区方針の「ロータリーの公共イメージと認知度の向上を目指す」ことに沿ったものです。さて、この間8月29日に中村重敏ガバナー補佐の出席の下、クラブ協議会が、又翌週には駒井英基ガバナー、笠慶宣地区幹事を迎えてガバナー公式訪問がありました。今期の行事の中でも最も不安な例会でしたが、皆さんの協力でどうにか無事終了することができました。ただ、駒井ガバナーからは、クラブの定款をRIが勧めている標準ロータリークラブ定款の組織編成、いわゆるCLPに改正するよう強い依頼がありました。現在川瀬会長エレクトが担当し、改正の準備作業をされているところです。私のこの報告の後、新理事を承認する件の話がありますが、川瀬さんから、組織編成についての説明があります。半期が過ぎ、地区主催のセミナー（クラブ奉仕セミナー、職業奉仕セミナー、社会奉仕セミナーなど）が終了し、それぞれ各理事、各委員長が出席されています。又、11月18日は、地区大会が佐賀市にて開催され、12名の方に参加していただきました。普段聞くことの出来ないRIの動向などの情報を得ることができ、有意義な大会でした。青少年奉仕委員会は山口理事の下、7月29日にインターアクト年次大会が有田市で開催され、濱崎先生、市川委員長、山田地区委員が参加されました。学生が学業のため参加できなかったのは残念です。又8月19日には宇都宮で開催された全国インターアクト研修会に濱崎先生、山田吉盛インターアクト地区委員が参加されています。米山奨学はご承知の通り、モンゴル出身のエルさんの世話クラブとなっています。エルさんには毎月第一例会に出席し、近況報告をしていただいています。又カウンセラーは島田さんが担当され、他クラブへの出前卓話などでお世話されているところです。寄付関係のことですが、ニコニコについては、年の目標額150万円ですが、現在49万円程で少し、厳しいようです。親睦委員会も頑張られていますのでご協力をおねがいします。国際奉仕委員会のロータリー財団と米山記念奨学の寄付ですが、11月のロータリー財団月間の際、平山理事から財団への寄付の意義、依頼がありましたが、目標6,000ドルに対し、現在1,053ドルです。今後のご協力をお願いします。米山への寄付は目標年額65万円に対し23万円となっています。クラブからの繰入がありますので、米山については順調に協力いただいています。今後もよろしくお願いします。後半期の事業活動は、青少年活動、桜の植樹、職場訪問など西クラブにとり、重要な事業が控えています。今後のご協力をお願いいたします。今期の活動方針として、「楽しい例会を心がける」を第1に掲げましたが、果たしてそう出来たか、私としては最善を尽くしたつもりですが、疑問は残ります。とりあえず半期はなんとか乗り切ったと思います。深堀幹事、役員の皆さん、何より会員の皆さん、そして事務局に感謝いたします。来年の6月の任期の千秋楽まで深堀幹事と「阿吽の呼吸」で頑張りますので、後半の半年もよろしくご協力をお願いいたします。

以上、半期の報告でした。

